

11/17

【追加】5.4 強風などにより海上で長い間待機をするのが危険な状況である場合、D旗掲揚から予告信号までの時間を40分よりも早くする事があります。

その場合は、その旨をスキッパーズミーティング、ないしは緊急ミーティングを開いて参加者全員に伝えます。

【追加】5.5 ひとつのクラスのみ出艇を許可する場合は、D旗の下に対象となるクラスのクラス旗を掲げる。

【追加】12.7 ひとつのクラスのみ出艇が許可された場合は、そのクラスのみでスタートを行う。

11/16

【追加】付則H

【追加】付則G

【変更】付則B マーク形状を変更しました

【変更】10.1 回航マークは1マーク(上マーク)・3マーク(下マーク)はオレンジ色の三角ブイ、2マーク(サイドマーク)は赤色の円形ブイを使用する。マークの写真を付則Gに示す。

【修正】12.3 aeroクラスが正常にスタートした場合、そのスタート信号後1分後に、RSクラスの予告信号が発せられる。aeroクラスがゼネラルリコールなどで再スタートとなった場合、RSクラスの予告信号は再スタートの1分後に発せられる。付則Dに示す。

11/14

【削除】9.5 コースの短縮は行わない。これはRRS32を変更している。

【追加】12.6 レース時間短縮のため、微風などの要因によりRSクラスのフィニッシュが長引きそうな場合、エアロクラスのみで次のレースのスタートを行う場合があります。

その場合、スタートラインとフィニッシュラインが交錯しないように、RSクラスのみ下マークでコース短縮を行います。

コース短縮が実施される場合、下マーク付近の運営ボートが音響2声とともにS旗とRSクラス旗を掲揚します。

フィニッシュラインはS旗を掲げたボートと下マークの間となります。

フィニッシュしたRSクラスは、エアロクラスのみでスタートしたレースが終わるまで待機し、その次のレースより通常のスタートに戻ります。

11/11【変更】16.3 各レースの、レースのタイムリミットの目安は45分とし、レースのタイムリミット内にどのボートもフィニッシュしない場合、レースは中止される事がある。これは救済の根拠とはならない。これはRRS 60.1(b)を変更している。

11/02【訂正】9.2、9.3の削除に伴い矛盾の生じていた箇所を訂正
【追加】付則Fに本部艇の写真を追加しました

10/28【追加】21.3 [NP] RSカテゴリー1,カテゴリー2の艇はスターボード側から認識できるセールナンバーを表示しなければならない。

10/26【訂正】 10.3 赤色の丸形ブイ→白色の丸形ブイ

10/15 【削除】9.2 aeroクラスのスタート直後の第一マークは、エアロ5はマークをスターボード側に見て通過する、エアロ6.7はマークをポート側に見て通過する。通過方法を「付則C」に示す。
9.3 RSクラスのスタート直後の第一マークは、カテゴリー1の艇はスタボ側に見て通過する、カテゴリー2の艇はポート側に見て通過する。通過方法を「付則C」に示す。

【削除】付則C

9/28 【追加】 9.6コース1を使用する際は、スタートラインのオレンジ旗とともに数字の「1」が書かれた旗が揚がる。

帆走指示書

RS JAPAN OPEN 2023 兼 第1回RS aero全日本選手権

大会日程:2023年11月16日(木)~19日(日)
(予備日11/20(月))

主催:日本RSクラス協会
場所:神奈川県葉山町 森戸海岸

帆走指示書(以下SI)の規則における「[NP]」の表記は、ボートがその規則を破った別のボートに対して抗議を行うことはできないことを意味します。これによりRRS 60.1(a)が変更されます。SIの規則における「[SP]」の表記は、もし破られた場合には競技委員会によって標準のペナルティが聴聞なしで適用される規則を示します。これによりRRS 63.1、A4およびA5 0.1(a)が変更されます。

1 規則

- 1.1 本大会は、セーリング競技の競技規則(RRS)で定義される規則に従って行われる。
- 1.2 RRS 40.1は、水上で常に適用される。
- 1.3 付録T「調停」が適用される。

2 帆走指示書の変更

2.1 帆走指示書に対する変更は、その効力が発生する日の09:00までに掲示される。ただし、レーススケジュールの変更は、その効力が発生する前日の20:00までに掲示される。

3 競技者との連絡

3.1 競技者への通知は、大会本部に設置された公式掲示板と、オンライン掲示板(ONB)に掲示される。

オンライン掲示板は以下のリンクからアクセスできます：

<https://www.racingrulesofsailing.org/documents/7087/event?name=rs-japan-open-2023-and-the-1st-rs-aero-all-japan-championships>

重要な注意：スマートフォンやタブレットでもブラウザを使用しRacingRulesofSailing.orgにアクセスすることが強く推奨されています。

APPは信頼性がないことが知られており、使用を避けてください。OA、RC、TC、PCはAPPの使用に起因する問題について一切の責任を負いません。

3.2 オンライン掲示板の不具合等は、艇からの救済要求の根拠とはならない。これは規則60.1(b)を変更している。

3.3 [DP] その日の最初の予告信号が発せられてから、当日の最後のレースが終了するまでの間、緊急の場合を除いて、艇は音声やデータの通信を行ってはならず、全ての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。

4 [NP] [DP] 行動規範

4.1 競技者および支援者は、レース委員会から合理的な要求に応じなければならない。

5 陸上で発せられる信号

5.1 陸上で発せられる信号は、大会本部の一階ならびに、出艇場所の森戸海岸ビーチで表示される。

5.2 AP旗が陸上で掲揚された場合、レース信号『AP』における「1分」は「40分以降」と置き換えられる。

5.3 [NP] [DP] 音響1声とともに D旗が陸上に表示されるまで、ボートは水上に出てはならない。予告信号はD旗が表示されてから少なくとも40分後に発せられる。ただし予定された時間よりも早く発せられることはない。

5.4 強風などにより海上で長い間待機をするのが危険な状況である場合、D旗掲揚から予告信号までの時間を40分よりも早くする事があります。

その場合は、その旨をスキッパーズミーティング、ないしは緊急ミーティングを開いて参加者全員に伝えます。

5.5 ひとつのクラスのみ出艇を許可する場合は、D旗の下に対象となるクラスのクラス旗を揚げる。

6 レーススケジュール

6.1 レースのスケジュールに関してはレース公示(NoR) 9を参照すること。

6.2 それぞれの日の最初のレースの予告信号の予定時刻は

・11月18日(土) 10:20

・11月19日(日) 9:40

である。

6.3 レースがまもなく始まることを知らせるために、本部艇は予告信号の少なくとも1分前にオレンジのスタートライン旗を表示する。

6.4 レースの予定された最終日には15:30より後に予告信号を発しない。

7 クラス旗

7.1 aeroクラスのクラス旗は、白地に「aero」の旗とする

7.2 RSクラスのクラス旗は、黒字に「RS」の文字の旗とする

8 レースエリア

8.1 レースエリアは神奈川県セーリング連盟の「E」海面とする。

※海面の位置は「付則A」の図を参照。

9 コース

9.1 コース、マークの通過順序、および各マークの通過側などをまとめた見取り図は「付則B」に示す。

9.4 最初のマークへのコンパス方位は、可能な場合、予告信号の直前までに本部船に表示される。

9.6 コース1を使用する際は、スタートラインのオレンジ旗とともに数字の「1」が書かれた旗が揚がる。

コース2を使用する際は、スタートラインのオレンジ旗とともに数字の「2」が書かれた旗が揚がる。

10 マーク

10.1 回航マークは1マーク(上マーク)・3マーク(下マーク)はオレンジ色の三角ブイ、2マーク(サイドマーク)は赤色の円形ブイを使用する。マークの写真を付則Gに示す。

10.2 スタートマークはスターボードエンドの本部艇のオレンジの旗を掲示するマストと、ポートエンドの白色の丸形ブイを使用する。

10.3 フィニッシュマークはスターボードエンドの本部艇の青色の旗を掲示するマストと、ポートエンドの白色の丸形ブイを使用する。

11 障害物

11.1 レース海面内を航行しているレースに無関係なプレジャーボート、漁船、デインギー、シーカヤック、SUPなどは全て障害物とみなす。

12 スタート

12.1 スタートラインは、スターボードエンドの本部艇のオレンジの旗を掲示するマストと、ポートエンドの白色の丸形ブイの間とする。

12.2 「aeroクラス」はaero5、aero6、aero7が同時スタートとする。
「RSクラスは」カテゴリー1、カテゴリー2が同時スタートとする。

12.3 aeroクラスが正常にスタートした場合、そのスタート信号後1分後に、RSクラスの予告信号が発せられる。aeroクラスがゼネラルリコールなどで再スタートとなった場合、RSクラスの予告信号は再スタートの1分後に発せられる。付則Dに示す。

12.4 スタート信号後4分以内にスタートしなかった艇は、審問なしでDNSとして採点される。これはRRS 35、63.1、A4およびA5を変更している。

12.5 [DP] [NP] 予告信号が出されていない艇は、他のレースのスタート手順の間、スタートエリアを避けなければならない。

12.6 レース時間短縮のため、微風などの要因により**RSクラスのフィニッシュが長引きそうな場合、エアロクラスのみで次のレースのスタートを行う場合があります。**

その場合、スタートラインとフィニッシュラインが交錯しないように、**RSクラスのみ下マークでコース短縮を行います。**

コース短縮が実施される場合、下マーク付近の運営ボートが音響2声とともに**S旗とRSクラス旗**を掲揚します。

フィニッシュラインは**S旗**を揚げたボートと下マークの間となります。(付則H)

フィニッシュした**RSクラス**は、エアロクラスのみでスタートしたレースが終わるまで待機し、その次のレースより通常のスタートに戻ります。

12.7 ひとつのクラスのみ出艇が許可された場合は、そのクラスのみでスタートを行う。

13 コースの次のレグの変更

13.1 小さなマークの移動(約5度または長さの10%まで)は、変更を信号で示すことなく行うことができる。これはRRS 33を変更している。

14 フィニッシュ

14.1 フィニッシュラインは、本部艇の青色の旗を掲示するマストと、白色の丸形ブイの間とする。

14.2 [DP] [NP] フィニッシュ後、ボートはフィニッシュエリアとまだフィニッシュしていないすべてのボートから離れること。

15 ペナルティ

15.1 ペナルティに関してはNoR 13を参照すること。

16 タイムリミットとターゲットタイム

16.1 ターゲットタイムは、各クラスの先頭艇のフィニッシュタイムが30分になるようにする。フィニッシュタイムがターゲットタイムの通りとならなくても救済の根拠とはならない。これはRRS 62.1(a)を変更している。

16.2 各レースの最初の上マークの制限時間は20分とする。制限時間内にどのボートも最初の上マークを通過しない場合、レースは中止される。これは救済の根拠とはならない。これはRRS 60.1(b)を変更している。

16.3 各レースの、レースのタイムリミットの目安は45分とし、レースのタイムリミット内にどのボートもフィニッシュしない場合、レースは中止される事がある。これは救済の根拠とはならない。これはRRS 60.1(b)を変更している。

16.4

エアロ5,6,7のクラスは、それぞれのクラスのトップ艇がフィニッシュした後10分以内にフィニッシュしなかったボートは、審問なしでDNFとして採点される。これによりRRS 35、63.1、A4およびA5が変更される。

16.5

RSカテゴリー1、カテゴリー2のクラスは、それぞれのクラスのトップ艇がフィニッシュした後15分以内にフィニッシュしなかったボートは、審問なしでDNFとして採点される。これによりRRS 35、63.1、A4およびA5が変更される。

17 抗議の申し立て

17.1 各クラスの抗議の締め切りは、当日の最後のレースの最終艇がフィニッシュするか、競技委員会が今日の競技を行わないことを示す信号を出してから60分とする。

17.2 <https://www.racingrulesofsailing.org/events/7087>はオンライン抗議申請フォームを提出するために使用できる。

17.3 各クラスの抗議の締め切り後30分以内に、申し立てに関する通知が掲示される。抗議審問は大会本部であるクラブハウスの室内で行われる。

17.4 付則Pに基づき、RRS42に違反した艇、テクニカル委員会またはレース委員会から標準のペナルティを受けたボート、またはプロテスト委員会からペナルティを受けたボートのリストは掲示される。

18 得点方式

18.1 得点方式に関してはNoR 14を参照すること。

19 安全規定

19.1 [NP] レース中にボートがリタイアしてコースエリアを離れる場合、または当日の次のレースに出走しない場合、いずれかの運営艇にその旨を伝える必要がある。本人が伝えるのが難しい場合、サポート艇、近くの参加者などいずれかの方法で伝える事。

19.2 [DP] [NP] [SP] 海に出る前に、競技に参加する意向のある各競技者は、受付に用意された所定の用紙に署名をする必要がある。

また、レースが終了して着艇した際には、レース終了後(もしくは今日の競技を行わないことを示す信号を出してから)60分以内に、戻ったことを確認するための署名しなければならない。署名する競技者のリストは、主催委員会から提供され、大会本部に用意される。

この指示に従わない場合、ペナルティとして違反に最も近いレースに3ポイントの加算が行われる。違反したボートのリストは、各クラスの抗議の期限後30分以内に公式掲示板に掲示される。

19.3 安全のために、セールをリーフする事ならび、マストフロートをつけることを認める。ただし、リーフを行った際にもレーティングの数値は変更されない。リーフの際はセールナンバーが見えるようにすること。

19.4 レース委員会は選手の安全を確保するために、選手へのリタイア勧告をすることができる。リタイア勧告されたヨットは速やかにリタイアし帰着しなければならない。その場合の救済の要求はできない。これによりRRS 60.2 および62が変更される。

20 [DP] [NP] 乗組員または装備の交換

20.1 ダブルハンド艇はクルーが交代することが出来る。ただし事前にエントリー登録を行っているクルーに限る。乗り替わりは、前のレースのフィニッシュ後から、次のレースの予告信号までの間に行う事。

20.2 損傷または紛失した装備品の交換は、テクニカル委員会によって許可されていない限り、行ってはならない。交換の要求は、最初の適当な機会にテクニカル委員に伝える事。代替装備はクラス規則に適合する必要がある。

21 装備と計測チェック

21.1 [NP] ボートや装備は、随時、クラス規則・SI・NoRに準拠して検査される可能性がある。

21.2 [DP] [NP] ボートは、テクニカル委員会の合理的な要求に従う必要がある。

21.3 [NP] RSカテゴリー1,カテゴリー2の艇はスターボード側から認識できるセールナンバーを表示しなければならない。

22 [DP] 装備の貸し出し

選手間、または主催団体から選手への装備の貸し出しを認める。これは選手をサポートし、無駄を減らすためのものである。

貸し出しによって艇体番号とセイル番号が異なる場合などが生じた際は、競技者はテクニカル委員会(またはイベント計測士)に書面で別のセイル番号を使用する許可を求める必要がある。

許可は特定の状況に対してのみ与えられ、テクニカル委員会(またはイベント計測士)の判断に従う必要がある。この指示に従わない場合のペナルティは、違反に最も近いレースに適用される1ポイントのペナルティです。

23 運営艇の標識

セーフティボートは白地に赤い「S」で識別されます。

レース委員会の船は、白地に黒い「RC」で識別されます。

プロテスト委員会の船は、白地に黒い「J」で識別されます。

24 [DP] [NP] サポートチーム

サポート艇の申し込みなどに関してはNoR15を参照すること。

25 ゴミ処理

ゴミの処理に関してはNOR 18を参照すること。

**【重要】※※※ゴミを海上に投棄しない事。公式船またはサポートスタッフの船に渡してください
※※※**

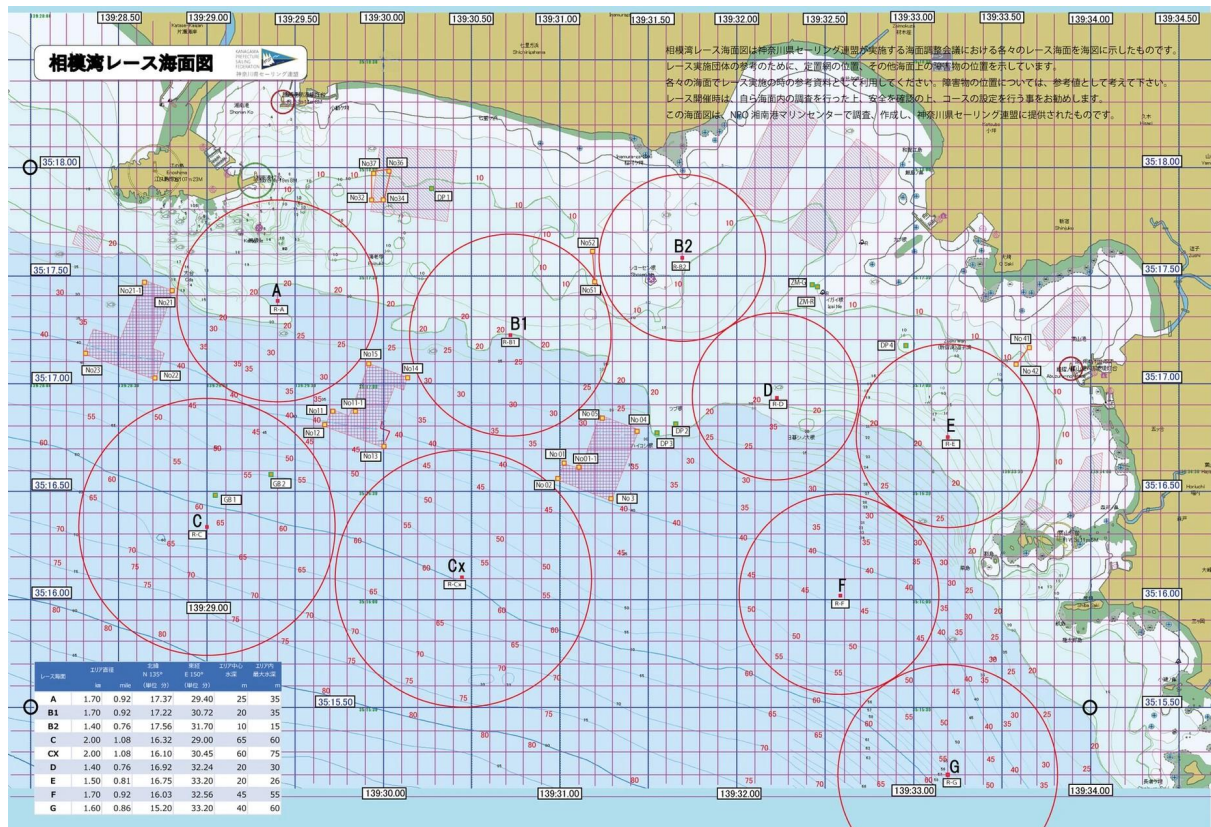
26 [DP] [NP] バース

海岸に置かれた艇や船台は、指定された場所に置かれる必要がある。艇の場所や船台の置き方はビーチマスターの指示に従うこと。

27 プレスボート

大会事務局より許可を得たプレスボートは、レース中にレースエリア内を走行する権利を有する。また、プレスボートによるひき波などのレース参加艇への影響は救済の対象とはならない。ただし、明らかな進路妨害などが発生した場合はその限りではない。

付則A
レース海面

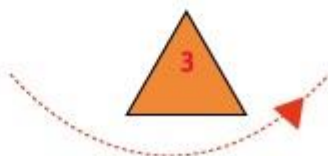
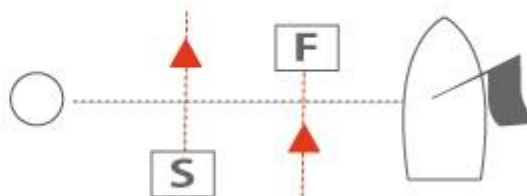
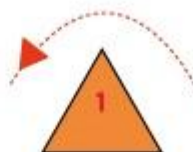


付則B
コース図

【注意】図はスケールにはなっていません。また、マーク間の角度は目安であり、実際にはわずかな違いが生じる可能性があります(これはRRS 60.1(b)の根拠とはなりません)。
「スタート/フィニッシュマーク」を除くすべてのマークはポートサイドにみて回航する必要があります。

コース1

S → 上 → サイド → 下 → 上 → 下 → 上 → サイド → 下 → F
(S → 1 → 2 → 3 → 1 → 3 → 1 → 2 → 3 → F)

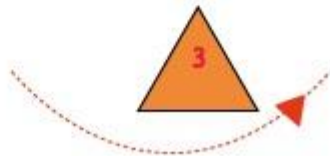
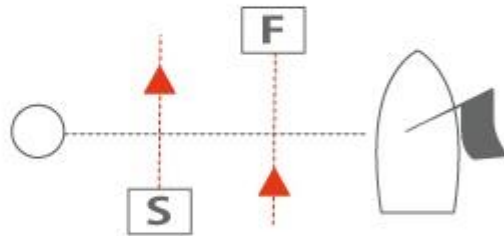
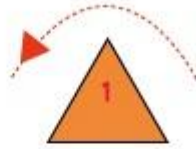


RS カテゴリー 1 は S → 上 → サイド → 下 → 上 → 下 → F
(S → 1 → 2 → 3 → 1 → 3 → F)

コース2

S → 上 → 下 → 上 → 下 → 上 → 下 → F

(S → 1 → 2 → 1 → 2 → 1 → 2 → F)



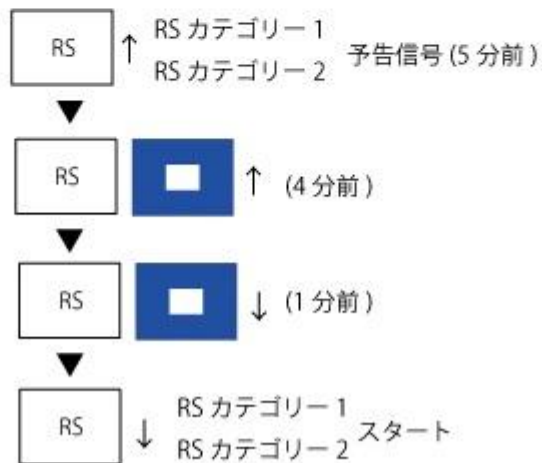
RS カテゴリー 1 は S → 上 → 下 → 上 → 下 → F
(S → 1 → 2 → 1 → 2 → F)

付則D
スタート信号

スタート信号



正常にスタートしたら 1 分後



ただし12.6の場合を除きます。

付則E
(作成中)

競技者用のWhatsAppグループ(選手同士の交流用)には、次のリンクを介して参加できます：

付則F 本部艇は以下の写真のセーリングクルーザー(ナウターズスワン36)を使用する
※天候によって変更になる事もあります



付則G マークは以下の写真のマークを使用する



付則H 12.6の際のRSクラスのフィニッシュライン

